

鯖江市地域公共交通活性化協議会 報告資料

一般社団法人 地域公共交通鯖江
2023年6月26日

報告項目

1. 利用実績について(3/1~5/31)
2. 令和4年4月から令和5年5月までの各数値の推移
3. 課題の整理
4. 総括と所感

1.利用実績について(令和5年3月1日～令和5年5月31日)

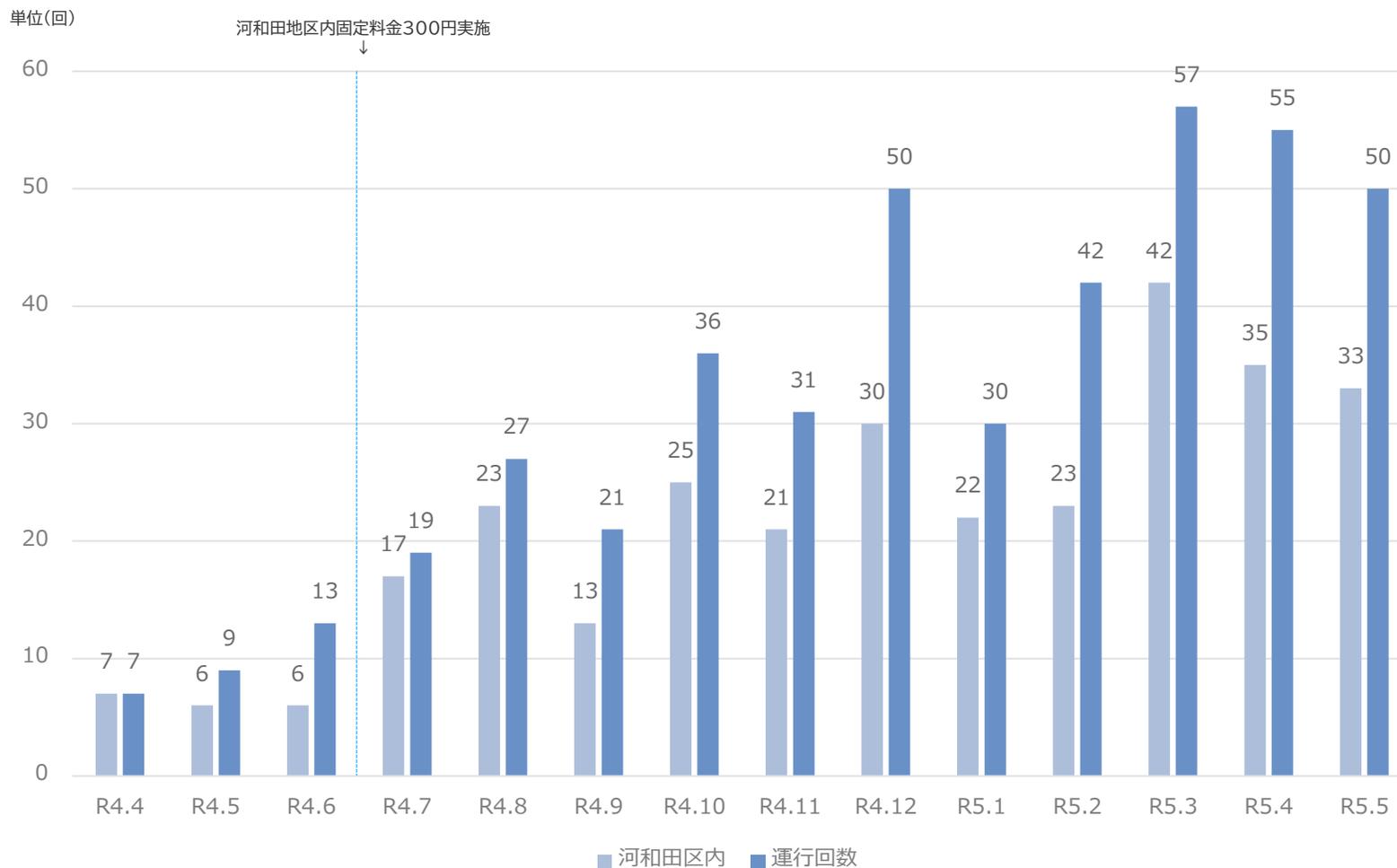
利用実績

期間	令和5年3月1日	令和5年5月31日	
利用登録者	184名	200名 河和田地区高齢者の13.1% 河和田地区民の5.3%	1,522人(河和田地区高齢者数) 3,769人(河和田地区民)
ドライバー	10名	6名	

- ・運行回数 162回 (3月→57回、4月→55回、5月→50回)
- ・利用目的 通院(59回)・新型コロナワクチン接種の為の移動(4回)
買い物(16回)・美容院(5回)・郵便局(7回)・娯楽(37回)
公民館活動(23回)・その他(11回)
- ・河和田内運行 162回の内、110回(67.9%)

2. 令和4年4月から令和5年5月までの各数値の推移

利用回数と河和田地区内の利用



2. 令和4年4月から令和5年5月までの各数値の推移

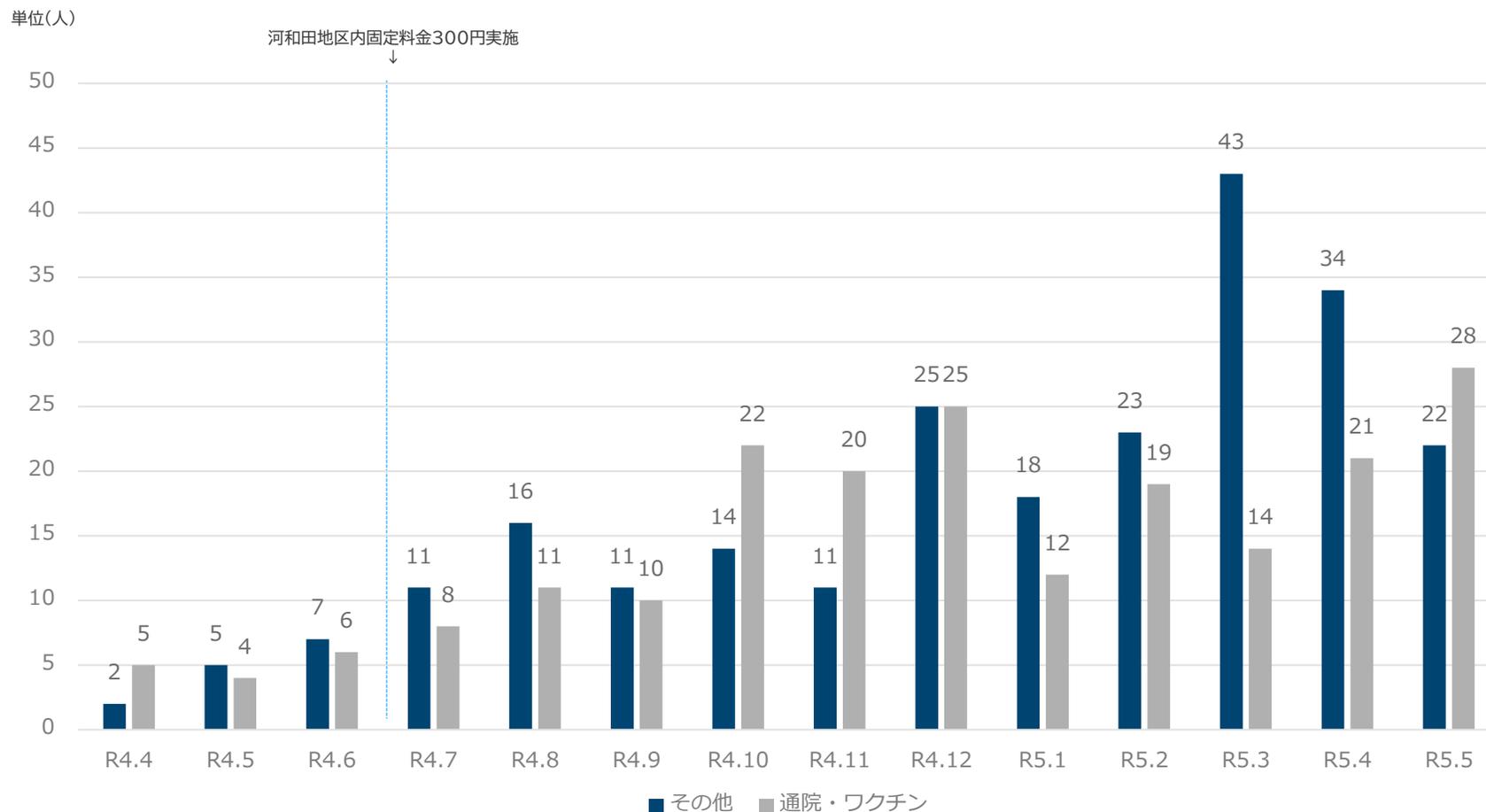
利用人数



2. 令和4年4月から令和5年5月までの各数値の推移

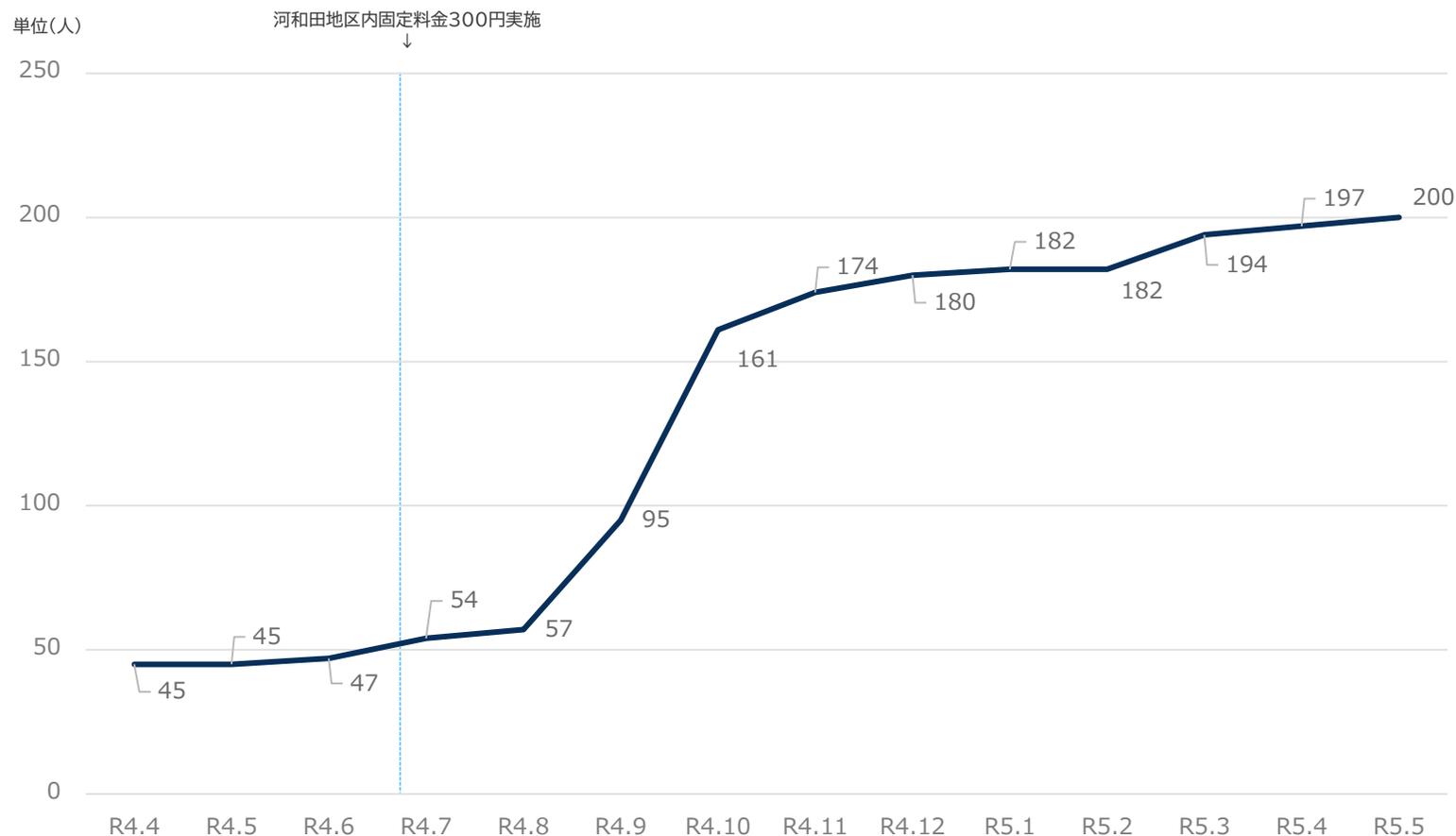
利用目的

病院関係（通院, ワクチン接種）とそれ以外（買い物, 美容院, 郵便局, 公民館活動, 娯楽, 他）



2. 令和4年4月から令和5年5月までの各数値の推移

利用者登録人数



3.課題の整理

大項目	中項目	解決案
利用人数をどう増やすか	登録人数を増やす	引続き広報活動を行っていく ・おしゃべりサロンへの参加 ・ポスターの掲示依頼(訴求ポイントは変えながら) ・既利用者への紹介依頼
	利用者の層を広げる	学生の送迎に利用してもらえるようにする ・学生がいる親に対して訴求できる案の立案実行
鯖江市の交通において毛細血管的な役割をどう担えるか	つつじバスとの連携	利用者につつじバスとの連携をイメージできるように声掛けをする
継続的な運営主体	地域と協力しながら、地域内でも運営に関与できるようにする	地域と協力しながら、地域内で運営に関して主体的に動ける方を選出して頂き「どのように盛り上げていくのが、河和田地区にとって良いのか」を一緒に考えさせて頂けるようにしていく 地域の文化・慣習などニーズに合った施策を打ち出せるようにする

4. 総括と所感

- ・運行を開始して2年強、交通事故は無し。
- ・ヒヤリハットとしては交通事故ではないが、乗車の際に利用者が転倒しそうになった事がある。
→高齢者の乗降の際にはドライバーさんはなるべく後ろに立つように依頼済。
- ・今後も、ちょいボラ交通が担っている役割としての「生活圏での移動手段となり、利用者の生活満足度を高め社会的な課題を解決する」を追求します。